

日本カーリット、JAXA から H3 ロケット開発への貢献で感謝状

～ 固体ロケットブースタ開発に固体推進薬原材料の安定供給で大きく寄与 ～



JAXA から日本カーリットに贈られた感謝状

当社連結子会社である日本カーリット株式会社(代表取締役兼社長執行役員:小川 文生、資本金:1,204 百万円、以下「日本カーリット」)は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」)より、国産次世代大型基幹ロケット「H3」の開発への貢献が評価されました。

日本カーリットは祖業である「塩」の電気分解の独自技術により、ロケット用固体推進薬原料となる「過塩素酸アンモニウム」を群馬工場で生産し、H3 ロケットの固体推進ブースタ(以下「SRB」: Solid Rocket Booster)の固体推進薬原材料として供給しています。今回、2月17日のH3ロケット試験機2号機の打ち上げ成功に際し、原材料の安定供給が大きく寄与したとして JAXA より感謝状が贈られたものです。

SRB-3 は H3 ロケットに装着され、打ち上げ時に大きな推進力を発揮する固体ロケットで、大きさは代表径 2.5m、長さ 14.6m、推進薬質量は 66.8t、全燃焼時間は約 110 秒です。(出典: JAXA ホームページ)

カーリットグループは JAXA が掲げる日本の技術を集結させ、世界をリードするロケットを作るというミッションに呼応し、当社グループの「持続可能な社会に貢献するために、“化学”と“技術”の力を合わせ、人びとの幸せな暮らしを支えたい」というスローガンのもと、これからも我が国の宇宙産業の発展に貢献していきます。

【本件に関する問い合わせ先】

(株)カーリット 広報・IR推進室